

～私と星槎が示す未来～

五輪、世界選手権を通じて短距離種目で日本人初のメダリストとなり、今なお現役選手として国内外の競技会へ挑戦を続けながら、生涯スポーツの普及に取り組まれている、星槎大学特任准教授の末續慎吾氏をお迎えし、星槎の未来、子どもたちの未来を、共に考えます。



すえつぐ しんご

講師 末續 慎吾 氏

現役プロ陸上選手 / 星槎大学特任准教授

1980年6月2日生まれ、熊本県出身。九州学院高校から東海大学、ミズノ、熊本陸上競技協会を経て、現在は自身のチーム EAGLERUN 所属。星槎大学特任准教授。大磯町教育委員会委員。

2003年3月、日本選手権で200mの日本新記録を樹立(20秒03＝現日本記録)。同年8月、フランス・パリで開催の世界陸上の200mで、日本人で初の銅メダルを獲得。更に2008年北京五輪で4×100m リレーで日本史上初の五輪 銀メダルを獲得。五輪、世界選手権を通じて短距離種目で日本人初のメダリストとなる。6月、9年ぶりに日本選手権に登場。

現在42歳。現役選手として国内外の競技会へ挑戦を続けながら、生涯スポーツの普及を自らが体現。2018年から、EAGLERUN(イーグルのように空を自由に飛ぶような制限のない走りという意味を込め命名された)プロジェクトを立ち上げ、末續が考えるRUNの哲学の元これからのスポーツ界に必要と考える「スポーツの本質」を生かした「新しい走りの精神と世界観」を自らが走りながら体現・提案しながら普及活動を行っている。

“互いの悩みをもちより、時には笑いそして涙し、元気づけ合い勇気を与え合う”
 “まずは親が元気になる、笑顔になる。そしてみんなで子どもたちを育てていく”
 「できる人が、できる時に、できることを」をモットーに、子どもたちと先生たちを支える日本で唯一・星槎の「全国親の会」。今年も全国の親同士が繋がり、学び合い、笑顔になる「全国保護者研修交流会」を開催いたします。

3月25日 土 13:00
～15:00



お申し込み

在学・卒業の校舎にご連絡いただくか、左のQRコードよりお申込みください(※切:3/24)

主催  星槎全国親の会

協力 一般社団法人星槎グループ / 公益財団法人世界こども財団

星槎全国

親が繋がりに学び、元気になる

保護者研修交流会

